

- (2) 「(主語) は…によって～される」は 〈(主語) + be 動詞 + 過去分詞 + by …〉 の形で表します。by の後 (…によって) が代名詞の場合は目的格にします。

能動態から受動態への書き換えは次のようになります。

[能動態] He likes her. (彼は彼女が好きです。)

[受動態] She is liked by him. (彼女は彼に好かれています。)

\* her が She (主語) になります。

\* He が him (by の後なので目的格) になります。

\* 〈be 動詞 + 過去分詞〉は is liked となります。能動態の動詞 likes は現在形ですので、受動態の be 動詞は主語の She に合わせて is (現在形) を用います。

[能動態] She opens the window every day. (彼女は毎日その窓を開けます。)

[受動態] The window is opened by her every day. (その窓は毎日彼女によって開けられます。)

\* 受動態において、開ける行為をするのは彼女なので by her となり、また窓が開けられるので The window が主語になります。

\* 能動態の動詞 opens は現在形なので、受動態の be 動詞は is (現在形) を用います。

[能動態] Ken wrote the letter yesterday. (健は昨日その手紙を書いた。)

[受動態] The letter was written by Ken yesterday. (その手紙は昨日健によって書かれた。)

\* 受動態において、書く行為をしたのは健なので by Ken となり、また手紙が書かれたので The letter が主語になります。

\* 能動態の動詞 wrote は過去形なので、受動態の be 動詞は was (過去形) を用います。